

# 世界が求める「知」発信

## 慶應義塾大先端生命科学研究所開設10年

⑥

——慶應の湘南藤沢キャンパスからバイオキャンプとして例年、多くの学生が半年、1年の間、



富田 勝所長

この10年間、この研究所から数多くの優秀な学生が育ったことは私の誇りです。やはり「までも



鶴岡で学んでいます。本年度は学部生が20人、大学院生が19人来ています。人材育成という面ではいかがですか。

この10年間、この研究所から数多くの優秀な学生が育ったことは私の誇りです。やはり「までも

### 富田勝所長にインタビュー

## 知的産業で活性化日本の成功例に

ていることです。鶴岡のことが大好きだし、この鶴岡の風土が自分たちを育てたと思っているし、いつか恩返ししようと思

「田舎過ぎず、都会過ぎず」というところにあります。自然豊かなのに東京に日帰りもできる。それに鶴岡の四季は素晴らしいです。私としては、

岡に住むと、自然や文化の大切さが無意識のうち身に染みていくんだと思います。それは一生の宝になります。

例えば胃がんの場合、自覚症状がないので初期に発見するには、現状では胃力メラを飲むしかありません。自覚症状がないのに胃力メラを飲むというのはかなり努力と苦痛を伴います。40歳以上の男性で毎年胃力メラを飲んでるのは15%ほどしかないと言われている。

富塚陽一前鶴岡市長によれば、庄内の農業は、歴史的に先人たちがさまざまな知恵や研究を重ねて成熟させてきた「知的産業」なのだということ

専門の弁護士になった卒業生や、国家試験を受けてバイオ専門の弁理士になった卒業生もいます。

最初の年は慶應の学生が果たして山形を気に入ってくれるか心配でした。

しかし、1年たったら、みんな自由闊達に、面白くて奇想天外なアイデアの持ち主です。彼らにも

鶴岡中央高に入学して、研究助手に応募してください。それが夢実現の第一歩です。

鶴岡中央高に入学して、研究助手に応募してください。それが夢実現の第一歩です。

富塚陽一前鶴岡市長によれば、庄内の農業は、歴史的に先人たちがさまざまな知恵や研究を重ねて成熟させてきた「知的産業」なのだということ

鶴岡にものごく感謝し

「第二の故郷・鶴岡」から、世界に羽ばたく人も

鶴岡の良さは、まず

一つは、メタボローム

飯に1割を減らすことが

（聞き手＝報道部長・富塚）